



水稻栽培の主要病害防除に

農林水産省登録  
第16841号

# 殺菌剤 **ゴジワンモンカット**® 粒剤

## いもち病と紋枯病の同時防除に!



紋枯病



これらの病害の防除にも

いもち病



稻こうじ病



写真: イメージ



詳しくは  
特設サイトを  
チェック!

®は日本農業(株)の登録商標

「WCS用稲に使用できる農業のリスト」に記載

# 出穂の20日前、発病株率が10%を超えたら “紋枯病”要防除の注意信号！

出穂の20日前頃は穂いもちの予防と紋枯病の上位進展を抑える重要な時期です。

西日本地域の6月移植稲や麦跡作稲では、高温のため紋枯病の発病が早くなるので、出穂30日前に処理してください。

## 上手な使い方

### 水管理

散布時は田水深を3cm以上にし、  
散布後3～4日は湛水状態を保ち、  
7日間は落水、掛け流しはしないでください。

### 使用時期

出穂の20～30日前が防除適期に当たります。  
（紋枯病の発病株率が  
30%以下の時に使用してください）

## 適用病害虫および使用方法

<2026年1月現在の登録内容>

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イソプロチオランを含む農薬の総使用回数	フルトラニルを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 紋枯病	3～4kg/10a	出穂10～30日前 但し、収穫30日前まで	2回以内	湛水散布	3回以内 移植前は 1回以内、 本田では 2回以内	4回以内
	稲こうじ病	4kg/10a					

（詳しくは製品ラベルをご確認ください）

## 注意事項

- 育苗箱には使用しないでください。
- 散布に当たっては、田水深を3cm以上の湛水状態とし、散布後少なくとも3～4日間は湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。なお、極端な漏水田での使用はさけてください。
- 本剤の使用適期は通常出穂20日前頃であるが、稲の品種あるいは地域により前後することがあり、また、多発時の散布は効果が劣る場合があるので、使用に当たっては病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないでください。
- 散布後は河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載内容以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届くところには置かないでください。  
●使用後の空袋等は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

2026年1月作成 全新企画社 P4202601007